

## 令和5年度 利田地区町政懇談会

開催日時 令和5年6月13日（火）午後7時～午後8時

開催場所 利田公民館

出席者 立山町 舟橋町長、杉田副町長、杉田教育長、清水総務課長、  
野田建設課長、堀教育課長、佐伯農林課長、成瀬住民課長、  
長岡建設課長補佐

地元議員 髪口議員（岡田議長は公務により欠席）

利田地区自治振興会 酒井会長

企画政策課 瀬本課長、中川課長補佐、高江係長、牧田主任、富崎主事、  
西村主事

参加者数 74名（うち町職員4名）

### 1 挨拶

町長 挨拶

### 2 懇談会

（1）町からのお知らせ（住民課より説明）

- ①不燃ごみ毎月収集とリングロー株式会社による使用済み小型家電収集について
- ②剪定枝・落ち葉の屋外焼却について
- ③令和5年度（緊急）省エネ設備等切替促進事業について

（2）質疑応答

●病虫害駆除等のため、農家は屋外焼却する必要がある。町から廃棄物処理法の例外規定について周知をしてほしい。

（住民課長）

広報立山7月号においても、周知する予定にしている。

●使用済み小型家電の収集は自宅まで回収に来てくれるということか。

（住民課長）

OA機器とあわせてであれば、谷口集学校から自宅まで回収に伺う。

●環境センターに持ち込むことができる剪定枝の長さは決まっているのか。

（住民課長）

軽トラの荷台に積める2m以内でお願いしたい。

### (3) 地区協議事項

#### ① 県道富山外郭環状線等整備と地鉄路線バス誘致

(住民課長)

「日水交差点の信号機設置」と、「外郭環状線の混雑解消を含めた道路網の再構築」について。

信号機の設置については、所管の警察署が交通量や道路の条件等を調査したうえで、富山県公安委員会へ上申し、最終的には公安委員会が設置の判断を行う。町としては、日水交差点への信号機設置について、県に対し重点事業要望書等で引き続き要望する。

外郭環状線については、矢印式を含めた信号機の設置が、混雑解消に効果があると考えられる。このことから、町としては、富山立山公園線と外郭環状線交差点のうち、外郭環状線への矢印式信号機の追加設置、町道曾我線と外郭環状線交差点への信号機の設置について、引き続き県への要望及び上市警察署への上申を行う。

(建設課長)

日水交差点の改良計画について、昨年度末（R5.3月末）に地権者様と、用地の提供について話をしたところ、承諾を得ることができた。この交差点は、県道との交差点部であることから、現在、立山土木事務所と工事内容について協議を進めている。今後の予定としては、秋ごろに用地を取得し、速やかに工事に着手する。なお、工事の完成時期については令和6年春頃を予定している。工事期間中は、地域の皆様方にご迷惑をお掛けするが、ご理解とご協力をいただきたい。

(企画政策課長)

「地鉄路線バス誘致」について。

現在、利田地区を通る地鉄路線バスは、1日7便の石金経由富山駅前行きと、1日14便の大泉西部経由富山駅前行きの計21便が日置バス停に停車している。また、ご提言にある藤の木循環線富山駅前行きは、1日に26便運行されており、利田地区に最も近い藤の木団地前バス停は、富立大橋を渡り、坂を下りた先の左手にある。

ご提言にある利田地区内の主要地方道富山立山公園線に、これら地鉄バスの路線コースを変更・延伸することについて、富山地方鉄道株式会社自動車部に伝えたところ、次のとおり回答があった。

「利田地区に新興住宅地が増加していることは把握しているが、若い世代が多く、主に自家用車を移動手段とされている。また、藤木地区の方の日常的な買い物は、同じ地区内の商業施設を利用されていることから、利田地区と藤木地区の間でバスに乗車されたい方は多くないと考えます。

よって、ご提言どおりバス路線を変更・延伸することは、現段階で採算が取れるほどの利用者ニーズが無く、加えて、現在のバス利用者にも不利益となる可能性が高いことから、実施は難しいと判断している。

富山市の例として、地区内にバスを走らせるため、運行費用の収支の不足分をその地区の全世帯から負担金としてお支払いいただいているケースもあるが、利田地区については、安定した採算が見込めるまで利用ニーズが高まった際に、新規路線も含めて改めて検討することとさせていただきたい。」とのこと。

町としては、現在、利田地区内を運行している町営バス北部循環線および利田・大森おでかけワゴンの利便性向上に努める。ご理解をいただきたい。

## ②小学校駐車場への防犯カメラ設置と公民館の増築再整備

(教育課長)

不審者対策としての防犯カメラについては、町内すべての小中学校にて、主に、児童・生徒玄関、校舎校門、グラウンド・校庭等を監視できるよう設置している状況。

しかしながら、駐車場への防犯カメラの設置については、町内7つの小中学校のうち立山北部小学校と立山中央小学校を除き、未設置の状態となっている。

町教育委員会としては、児童・生徒、教職員並びに地区住民の安全・安心を確保するための共通課題と認識しているので、今後、設置について検討する。

また、公民館の増築再整備については、利田地区の人口増加に伴い、平成元年度に建設した公民館が手狭となり、「敬老会や地区新年会、二十歳のつどい」等の各行事に影響を及ぼしていることは承知している。

今回、ご提言いただいた、「人口に見合った施設の年次計画について」は、立山町公共施設個別施設計画（素案）にて、今後の施設のあり方を検討しており、公民館施設の更新・建て替えについては、地区の人口動向と将来の予想並びに施設利用状況等を勘案して将来の施設規模を検討することとしている。

## ③立山町ランドデザインと都市計画の見直し

(企画政策課長)

町の最上位計画である「第10次立山町総合計画」においては、少子高齢化の現状を踏まえた上で、基本構想の中で地域別の取組方針を示している。医療や金融機関が集中する五百石駅周辺を核とした中央地域については、「公共施設の再編による公共サービスの機能強化に努める」こととしている。

一方、富立大橋周辺や幹線道路の沿道においては、「企業誘致や商業施設の立地を促進し、町の活力を創出する拠点」と方針を定め、優れた交通環境を生かした活性化に取り組んでいる。

今後、沿道において民間主導による商業施設が進出し、町民の利便性向上や地区の活性化につながることを期待している。

また、町では、公共施設の集約・再編化に関し「立山町中心部公共施設再配置計画」を令和2年度に策定した。その中で、新しい役場庁舎については、現在整備を進めている（仮称）防災センター・児童館と近接させることにより、施設規模の縮減に努めるとともに防災機能を強化することとしている。

なお、建築単価の高騰などにより、建設時の事業費を想定することは困難な状況にあるため、現段階では概算建設費の算出はしていない。

今後も、地域ごとの特性を生かし、効果的な施策展開によるまちづくりを推進していく。

### (4) 意見交換

- 塚越地内で馬場公園ができるということでもめている。塚越企業団地の誘致の時は町が用地を造成していたが、今問題になっている土地は不動産業者がやっている。これはどういうことか、説明してほしい。

(町長)

塚越地区は工業地域として指定された地域で、これまで町が企業誘致を進めてきた。今問題になっている箇所は企業団地内ではなく、町は関与していない。また、用途地域として工業地域に指定されている土地であって、町所有の土地ではなく、それぞれの地権者や

所有者の方がおられる。これまでは企業から町に間に入ってほしいと言われて、用地交渉をして、公共事業として造成していた。民と民の話なので、町は把握していない。

公害や排水等の問題があった場合には、県や町が早急に指導することになる。

- 日水交差点については話を進めていただいているが、やはり事故が起きてからでは遅いので、少しでも早くできるように努めていただきたい。

(建設課長)

交差点付近での田んぼの耕作が終わる前には用地の交渉等を終わらせ、早急に工事を発注し、できる限り早く完成したいと思っている。

(町長)

信号機の設置の話もあるかと思うが、この交差点の改良事業は国の補助事業にやっと採択された。交差点を広くしないと信号をつけてくれないのだろうと、今までの警察との交渉で感じていた。昨年もしたが、今年も県知事へこの交差点の改良について要望をしている。

- 地鉄バスが通れば、若い方も使うと思う。そうした点を見越して進めていくことは考えられないか。

(企画政策課長)

立山町に限らず、県内の市町村ではそれぞれが地鉄に補助を出しながらバスや電車の運行を維持してもらっている状況。コロナの影響により、経営状況も大変厳しいと聞いている。そうした中で新たな路線というのは難しいと思う。

(町長)

車を運転できない方は、県立中央病院に行くにはバスがあれば本当に便利だと思う。一方で、新しい路線を作るのであれば大日橋を通る路線をやめると言われた場合、その路線を使って通院されている方や通学している雄山高校生のことを考えると、難しい状況。

- 現在、町民会館の取り壊しがされているが、いま水害等が起こった場合、利田地区住民の避難場所はどこになるか？

(町長)

利田地区においては一時避難場所としては、小学校や公民館を想定しているが、水害となった場合は避難可能階層へ避難いただくか、基本的には元気交流ステーションや中央体育センター等に避難していただく想定をしている。

- ① 県道が4車線化すると、ますます開発が進む。こうしたことを踏まえ、町として、利田地区の開発についてきちんとしたものを出してほしい。

- ② 公民館で行う敬老会や新年会でスペースが足りないので、増築してほしい。

- ③ 県道4車線化に合わせ、新規の道路を作ってもらわないと問題は解決しない。

- ④ 役場庁舎は利田にあるといいと思う。利田地区の開発をどのように考えているか。

(町長)

- ① 令和3年に各種団体の代表者の方々を含め、議会の議決を経て、立山町の第10次総合計画が策定された。この中で町の各地域の方針を決めている。

- ② 敬老会について、利田公民館の問題は狭いということだと思うが、他の地区では老朽化が問題になっている。人口規模に合った公民館の面積となると、五百石公民館はより狭いということになる。五百石地区では、公民館では狭いので、敬老会は各集落で行ってい

る。その他の地区では飲食なしで開催しているところもある。老朽化の問題でいうと、専門家に見てもらったところ、五百石公民館がかなり古く、状態が悪くなっている。

- ③ 交通に関しては、企業団地の企業からも信号機設置の要望を受けている。ますます従業員の方が増えて、外郭環状線が混み合い、大きな道に出られなくなってしまう。県も企業誘致に関わっているので、ぜひ信号機をつけてほしいということを企業の方々とともに県に要望している。富立大橋は来年には4車線化するため、引き続き県と町で進めていきたい。
- ④ 役場庁舎を利田に、というのは難しいと考えている。役場庁舎は昭和40年に建設された古いものだが、建て替える際の国の有利な補助制度がない。町民会館については、町民会館を壊し、また、大日町にある子育て支援センターの老朽化に伴う建替えと併せて防災センター及び児童館をつくるということで有利な財源を使っている。役場については、現在はわずかずつだが、建替えのための貯金をしているという段階。

●町民会館は何年か前に耐震工事をしていた。有利な補助金といっても町の負担がないということはないだろう。町債なのだから、庁舎を持つてくることも可能だろう。

(町長)

実は、借金することすら許可制。つまり、国の制度に見合ったものではないと、県や国が許可しない。防災センターということで借金をすることができる。それで交付税措置があり有利な財源となる。公共施設の床面積を減らすということで、行政改革につながる。

阪神淡路大震災の際に3分の1程度という補助制度があった。今、入善町などが進めている新庁舎建設事業は、もっと有利な制度を使っている。町民会館は耐震工事はしたが、水回りなどは直していない。これ以上使用できないということで、町民会館に手をつけさせていただいた。

●小学校の適正配置検討委員会をまたするということが、5年前にも開催していたが、なぜもう一度開くことになったのか。

(教育長)

検討委員会は平成25年、平成30年、そして今度は令和5年というように5年ごとに行っている。前は人数を鑑みて、釜ヶ淵小学校の統合を中心に話がされた。

コロナ禍もあり、昨年度と一昨年度に立山町内で生まれているお子さんは120~130人。5年前に検討委員会があった時は、1学年だいたい180人くらいだった。その時と比べ、毎年子どもが50人以上減っている。この状態では釜ヶ淵小学校や立山小学校のほかにも複式学級になる可能性がある学校が出てくるという状況。

今年度行う検討委員会では、まず町として今後どのような学校にしていくのか、どう維持していくのかという話し合いをしたいと思っている。どの学校をどうするかという話の前に、町全体としてしっかり見極め、方向性について意見をいただきたいと考えている。

●児童数は何年か前から分かっていたはずだが、なぜまたするのか。前回の検討委員会の提言を生かしていないのか。

(教育長)

前回の検討委員会では、令和5年度末に釜ヶ淵小学校を統合したらいいのではないかと、という提言はいただいていたが、今年度末に同校を統合したとしても、すぐに次、どこかとどこかを統合したらいいのではないかと話になってしまう。そのため、一つひとつを検討する前に、町全体としてどうすべきかを話し合いたいと考えている。

- 来年、県道が4車線化になれば、利田地区は激変すると思う。利田地区をどのようにするか、ランドデザインを描き、地区に提言してほしい。新しい道路や県道のバイパス、町道を作るなりということを整理して示してほしい。

(建設課)

第10次総合計画の中で、富立大橋を下った道路の両サイドについて、新たな用途地域を設定し、商業や工業の誘致を進めていきたいとお願いさせていただいているところ。また、都市計画マスタープランというものを平成23年3月に策定し、もうすでに10数年が経過している。そこで、新たなマスタープランを策定するため、今年度から各地区の状況を確認しつつ、将来的な開発等について検討をしていくこととしている。このマスタープランについては、おおむね2年から3年という期間をかけ、町全体の計画、そして各地区の計画を策定したいと考えている。利田地区についても、何度も足を運ばせていただきながら、皆さまのご意見を伺って新たな計画を作りたいと考えている。

- 町の元議員などが叙勲や褒章を受けた時、なぜ祝賀会の会場に町内施設を使わないのか。

(町長)

個人のことなので、お答えはしかねる。

### 3 閉会

髪口議員 挨拶

終了